



ほつきよくぐま館オープン(9月21日)  
**ASAHIYAMA ZOO**

発行所  
 動物資料展示館  
 旭川市  
 旭山動物園  
 ☎ 36-1104



ぜひ、動物資料展示館へきて見てください。

**移入動物の現状展**  
 8月24日～10月20日

このコーナーにいる野生動物たちが訴えている気持ちを感じてみてください。

**会場＝動物資料展示館**

**在来の野生動物は！**

旭山動物園では北海道産動物コーナーが作られていますが、ここにいる動物の多くは、人間が原因で病気になったり、けがをして、人手によって動物園に連れてこられた野生動物たちです。

**移入動物の現状**

もともと北海道に棲んでいなかった野生動物が、他の国や地域から人手によって運ばれ、北海道の土地で野生化してしまっているものが増えてきています。

このような動物のことを移入動物といっているのです

**移入動物が**

**なぜイタナイのか**

最近特に困っていることは、珍しい外国産のペットを飼い、逃がしてしまったり、手に負え

なくなつて処分するのはかわいそうだと野生に簡単に放してしまつことや、狩猟などのスポーツを楽しむために持ち込んだ移入動物(コウライキジやブラックバスなどを放すことです。



・不田心議院光見・見つけてねー！ (11)

(見つけて聞いてみてください！)

ミシシッピーアリゲーター(ワニアリゲーター科)生息地＝アメリカ合衆国の東南部と南アメリカに棲んでいます。



その他＝アリゲーターやクロコダイル、そしてガビアルは大爬虫類(恐竜)時代の生き残りです。

これらワニ類は、6,500万年前からほとんど形を変えことなく現在まで生きつづけてきましたが、今でも絶滅にさらされることなく周囲の環境の中で生態的にも支配的な位置をしめ、明らかに繁栄しています。このようなワニ類の繁栄をさまたげているのは人間なのです。

・不田心議院光見・見つけてねー！ (10)

(見つけて聞いてみてください！)

ヤマアラシ(ネズミ目ヤマアラシ科)生息地＝アフリカとアジアの密林から半砂漠地帯に棲んでいます。



その他＝採食のための移動は、ほぼ夜だけで日中に休息する隠れ家さえあれば、どんな環境にも棲むことができます。

旭山動物園ではアフリカタテガミヤマアラシを4頭飼育しています。

あかちゃん、地下のトンネル状の巣穴にある草の敷きつめられた小室で、とてもよく成長した状態で生まれます。

正しい知識をもたずに気軽に飼う流行や楽しければいいだけの無責任さで放してしまうことにより、それらの移入動物が野生化して環境を破壊したり、在来の野生動物そのものが食べられて絶滅に追いやられてしまつことさえあり、バランスのとれた生態系が崩れてしまつて

たとえば、アリゲーターの場合は、エゾタヌキの生活をおびやかしたり、アオサギの巣を襲ったり、農作物を荒らしたりするほかに、アリゲマ回虫という人に感染すると危険な病気を引き起す元にもなっています。また、もともとは、人のペットであった野良犬やネコにつくダニ(カイセン)に感染した野生のタヌキやキツネが命を落とし、数を減らしています。



「このように移入動物は在来の野生動物の生活をおびやかしており、旭山動物園では保護の対象とはしていません。」